



令和5年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

令和5年2月13日

上場会社名 ジョルダン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3710 URL <https://www.jorudan.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 佐藤 俊和
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画室長 (氏名) 岩田 一輝 (TEL) 03-5369-4051
 四半期報告書提出予定日 令和5年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 令和5年9月期第1四半期の連結業績 (令和4年10月1日～令和4年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
5年9月期第1四半期	647	9.6	△26	—	△96	—	△69	—
4年9月期第1四半期	590	△6.6	△63	—	△42	—	△37	—

(注) 包括利益 5年9月期第1四半期 △85百万円(—%) 4年9月期第1四半期 △36百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
5年9月期第1四半期	△13.57	—
4年9月期第1四半期	△7.26	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
5年9月期第1四半期	5,750	4,852	83.8
4年9月期	5,822	4,969	84.7

(参考) 自己資本 5年9月期第1四半期 4,817百万円 4年9月期 4,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
4年9月期	—	0.00	—	6.00	6.00
5年9月期	—	—	—	—	—
5年9月期(予想)	—	0.00	—	6.00	6.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 令和5年9月期の連結業績予想 (令和4年10月1日～令和5年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,450	5.5	90	1,028.0	100	△5.7	50	△0.5	9.80
通期	2,800	5.6	130	—	150	△23.5	80	22.3	15.68

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 1社(社名) 株式会社エアーズ、除外 1社(社名)

(注)株式会社エアーズについては、みなし取得日を当第1四半期連結会計期間末としているため、当第1四半期は貸借対照表のみを連結しております。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	5年9月期1Q	5,255,000株	4年9月期	5,255,000株
② 期末自己株式数	5年9月期1Q	154,280株	4年9月期	154,280株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	5年9月期1Q	5,100,720株	4年9月期1Q	5,129,618株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成しております。実際の業績等は、今後の経済情勢、市場動向に関わるリスクや不確定要因等により変動する可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（令和4年10月1日～令和4年12月31日）におきましては、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中、わが国の景気は緩やかに持ち直してまいりました。但し、世界的な金融引き締め等が続く中、海外景気の下振れがわが国の景気を下押しするリスクとなっております。

情報通信業界におきましては、企業のソフトウェア投資は緩やかに増加しており、情報サービス業及びインターネット付随サービス業の売上高についても前年同四半期（令和3年10月1日～令和3年12月31日）と比べ増加となりました。また、1世帯当たりのインターネットを利用した支出についても増加となりました。このような中、IoT（モノのインターネット）やAI（人工知能）技術の高度化・実用化の進展等、情報通信に関する市場環境の変化は更に加速してまいりました。また、交通サービスの領域におきましても、「MaaS（Mobility as a Service）」（モビリティのサービス化）の流れが進展してまいりました。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響による移動や外出についての質的・量的変化は、「MaaS」の展開にも大きな影響を与えております。

当社グループにおきましても、この市場環境の変化に対応した事業展開のための基盤整備に取り組んでおり、「乗換案内」の各種インターネットサービスは多くの方々に広くご利用いただくに至っております。現状においては新型コロナウイルス感染症の影響によりこれらの利用は減少しているものの、人々の移動需要の持ち直しを含め足下の回復傾向は続いており、今後の更なる回復にも期待を持てる状況となっております。

このような環境の中で、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は647,519千円（前年同四半期比9.6%増）、営業損失は26,614千円（前年同四半期は63,357千円の損失）、経常損失は96,363千円（前年同四半期は42,276千円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失は69,229千円（前年同四半期は37,259千円の損失）という経営成績となりました。

売上高につきましては、乗換案内事業セグメントの売上高が大きく増加し、加えてソフトウェア事業セグメント及びハードウェア事業セグメントの売上高についても増加したこと等により、全体として前年同四半期と比べ増加いたしました。また、売上高が増加した影響等により、営業損益につきましても前年同四半期と比べ改善いたしました。経常損益及び親会社株主に帰属する四半期純損益につきましては、為替差損の発生の影響が大きく、前年同四半期と比べ損失が拡大いたしました。

セグメント別の経営成績の状況は、次のとおりです。

乗換案内事業

乗換案内事業では、モバイル向け有料サービス等の売上高が前年同四半期と比べ減少したものの、法人向けの事業の売上高が大きく増加し、セグメント全体の売上高は増加いたしました。一方で、実証実験等の今後の事業展開を見据えた費用の増加等の影響が大きく、セグメント全体の利益はやや減少いたしました。

それらの結果、乗換案内事業全体としては売上高554,622千円（前年同四半期比7.8%増）、セグメント利益27,462千円（前年同四半期比13.7%減）となりました。

マルチメディア事業

マルチメディア事業では、出版関連事業における売上高が前年同四半期と比べ増加したこと等により、セグメント全体の売上高は増加いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の損失も縮小いたしました。

それらの結果、売上高3,536千円（前年同四半期比72.9%増）、セグメント損失2,679千円（前年同四半期は4,730千円の損失）となりました。

ソフトウェア事業

ソフトウェア事業では、セグメント間の内部売上高が前年同四半期と比べ増加したこと等により、セグメント全体の売上高は増加いたしました。また、これに伴い、セグメント全体の利益も増加いたしました。

それらの結果、売上高99,494千円（前年同四半期比16.9%増）、セグメント利益19,183千円（前年同四半期比134.1%増）となりました。

ハードウェア事業

ハードウェア事業では、積極的に事業拡大を図ったこと等により、セグメント全体の売上高は前年同四半期と

比べ大きく増加いたしました。また、これらの影響等により、セグメント全体の損失も大幅に縮小いたしました。

それらの結果、売上高24,535千円（前年同四半期比353.1%増）、セグメント損失955千円（前年同四半期は30,686千円の損失）となりました。

その他

その他セグメントにおきましては、売上高は前年同四半期と比べやや減少いたしました。また、これに伴い、損失が発生いたしました。

それらの結果、売上高2,524千円（前年同四半期比39.4%減）、セグメント損失1,053千円（前年同四半期は489千円の利益）となりました。

なお、上記のセグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を相殺しておりません。また、セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書における営業損益をベースとしておりますが、各セグメントに配分していない全社費用及びセグメント間の内部取引費用の控除前の数値であり、合計は連結営業損益と一致しておりません。

前年同四半期まで「その他」に含まれていた「ソフトウェア事業」及び「ハードウェア事業」について、重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における財政状態は、前連結会計年度末（令和4年9月末）と比較しますと、資産は71,139千円減の5,750,902千円、負債は45,399千円増の898,020千円、純資産は116,538千円減の4,852,882千円となりました。

資産

資産は、流動資産につきましては、325,319千円減の4,131,066千円となりました。これは、受取手形、売掛金及び契約資産が35,804千円増の609,035千円となった一方で、現金及び預金が332,320千円減の3,313,837千円となったこと等によるものです。受取手形、売掛金及び契約資産の増加は、株式会社エアーズの株式を取得し新たに連結子会社としたため、同社の受取手形、売掛金及び契約資産が新たに計上されたこと等によるものです。現金及び預金の減少は、株式会社エアーズに係るのれんの計上、配当金、賞与及び法人税等の支払並びに四半期純損失の発生等によるものです。

固定資産につきましては、254,180千円増の1,619,836千円となりました。これは、有形固定資産が3,057千円減の527,572千円、無形固定資産が212,654千円増の345,281千円、投資その他の資産が44,583千円増の746,981千円となったことによるものです。有形固定資産は、全体としては大きな金額の変動はありませんでした。無形固定資産は、株式会社エアーズに係るのれんの計上等により、大きく増加いたしました。投資その他の資産は、繰延税金資産の増加等により、増加いたしました。

負債

負債は、流動負債につきましては、20,948千円増の851,122千円となりました。これは、賞与引当金が31,609千円減の14,972千円となった一方で、未払費用が24,775千円増の77,221千円、契約負債が34,903千円増の458,781千円となったこと等によるものです。賞与引当金の減少は、賞与の支払等によるものです。未払費用の増加は、12月の販売費及び一般管理費が増加したこと等によるものです。契約負債の増加は、株式会社エアーズの契約負債が新たに計上されたこと等によるものです。

固定負債につきましては、24,451千円増の46,898千円となりました。これは、長期借入金が24,451千円増の44,459千円となったことによるものです。長期借入金の増加は、株式会社エアーズの長期借入金が新たに計上されたこと等によるものです。

純資産

純資産は、株主資本につきましては、99,833千円減の4,753,974千円となりました。これは、利益剰余金が99,833千円減の4,085,712千円となったことによるものです。利益剰余金の減少は、親会社株主に帰属する四半期純損失の発生並びに剰余金の配当によるものです。

その他の包括利益累計額につきましては、15,642千円減の63,330千円となりました。
非支配株主持分につきましては、1,063千円減の35,578千円となりました。

- (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明
業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,646,157	3,313,837
受取手形、売掛金及び契約資産	573,231	609,035
商品及び製品	23,276	27,302
仕掛品	150	150
原材料及び貯蔵品	58	58
前渡金	51,641	35,505
その他	179,619	162,359
貸倒引当金	△17,748	△17,182
流動資産合計	4,456,386	4,131,066
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	168,651	163,173
機械装置及び運搬具（純額）	3,688	3,369
工具、器具及び備品（純額）	96,715	103,472
土地	261,575	257,557
有形固定資産合計	530,630	527,572
無形固定資産		
のれん	-	202,035
ソフトウェア	131,098	134,292
その他	1,528	8,953
無形固定資産合計	132,626	345,281
投資その他の資産		
投資有価証券	434,529	434,399
敷金及び保証金	179,226	190,142
長期貸付金	14,640	14,640
繰延税金資産	57,945	90,915
その他	32,017	32,845
貸倒引当金	△15,960	△15,960
投資その他の資産合計	702,398	746,981
固定資産合計	1,365,655	1,619,836
資産合計	5,822,041	5,750,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和4年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和4年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	164,553	176,224
1年内返済予定の長期借入金	9,996	14,871
未払費用	52,445	77,221
未払法人税等	26,063	10,148
未払消費税等	24,488	23,585
契約負債	423,877	458,781
賞与引当金	46,581	14,972
役員賞与引当金	1,400	350
その他	80,767	74,967
流動負債合計	830,173	851,122
固定負債		
長期借入金	20,008	44,459
その他	2,439	2,439
固定負債合計	22,447	46,898
負債合計	852,620	898,020
純資産の部		
株主資本		
資本金	277,375	277,375
資本剰余金	512,421	512,421
利益剰余金	4,185,545	4,085,712
自己株式	△121,534	△121,534
株主資本合計	4,853,807	4,753,974
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	78,972	63,330
その他の包括利益累計額合計	78,972	63,330
非支配株主持分	36,641	35,578
純資産合計	4,969,421	4,852,882
負債純資産合計	5,822,041	5,750,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
売上高	590,938	647,519
売上原価	349,741	365,631
売上総利益	241,196	281,887
販売費及び一般管理費	304,554	308,502
営業損失(△)	△63,357	△26,614
営業外収益		
受取利息	423	199
為替差益	18,395	-
受取事務手数料	81	81
助成金収入	1,150	1,080
受取家賃	2,660	2,061
雑収入	234	298
営業外収益合計	22,945	3,721
営業外費用		
支払利息	5	5
持分法による投資損失	285	276
為替差損	-	70,337
賃貸収入原価	1,297	827
雑損失	277	2,024
営業外費用合計	1,865	73,470
経常損失(△)	△42,276	△96,363
特別損失		
固定資産除却損	0	77
特別損失合計	0	77
税金等調整前四半期純損失(△)	△42,276	△96,441
法人税等合計	△536	△26,365
四半期純損失(△)	△41,740	△70,075
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△4,481	△846
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△37,259	△69,229

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)
四半期純損失(△)	△41,740	△70,075
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,200	△15,858
その他の包括利益合計	5,200	△15,858
四半期包括利益	△36,540	△85,934
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△32,244	△84,871
非支配株主に係る四半期包括利益	△4,295	△1,063

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 令和3年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の有価証券報告書の(重要な会計上の見積り)に記載した新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定に重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 令和3年10月1日 至 令和3年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	513,415	2,045	65,895	5,415	586,771	4,166	—	590,938
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,000	—	19,185	—	20,185	—	△20,185	—
計	514,415	2,045	85,081	5,415	606,957	4,166	△20,185	590,938
セグメント利益又は 損失(△)	31,821	△4,730	8,195	△30,686	4,599	489	△68,446	△63,357

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	乗換案内 事業	マルチ メディア事業	ソフト ウェア事業	ハード ウェア事業	計			
売上高								
外部顧客への売上高	553,102	3,536	63,820	24,535	644,994	2,524	—	647,519
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	1,519	—	35,674	—	37,193	—	△37,193	—
計	554,622	3,536	99,494	24,535	682,188	2,524	△37,193	647,519
セグメント利益又は 損失(△)	27,462	△2,679	19,183	△955	43,011	△1,053	△68,572	△26,614

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報関連機器リース業等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益又は営業損失(△)と調整を行っております。

2 報告セグメントの変更等に関する事項

前年同四半期まで「その他」に含まれていた「ソフトウェア事業」及び「ハードウェア事業」について、重要性が増したため、報告セグメントとして記載する方法に変更しております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変更)

「ハードウェア事業」セグメントにおいて、株式会社エアーズの株式を取得したことに伴い、のれんの金額に重要な変動が生じております。

なお、当該事象による当第1四半期連結累計期間におけるのれんの増加額は、202,035千円であります。